

令和5年度第1回千葉県固定資産評価審議会 会議概要

- 1 日 時 令和5年11月15日(水)
午後2時00分から2時50分まで
- 2 場 所 千葉県自治会館 9階 第1会議室
- 3 出席者
(1) 委員
浜島委員(会長)、岡田委員、香取委員、小池委員、寺田委員、橋本委員、平岡委員(7名)
※粟生委員、大関委員及び桐谷委員については所用により欠席。
(2) 事務局
鳴田市町村課長、坂田副課長、池宮城税政班長、日暮副主査
- 4 議 題
令和6年度の固定資産(土地)の基準地価格
(諮問事項: 令和6年度 宅地、田、畑及び山林に係る基準地価格)
- 5 要旨
会長については、委員の互選により、浜島委員が選出された。
諮問事項について配付資料に基づき事務局より説明を行い、審議の上、原案どおり承認された。
- 6 主な質疑等
○委員
宅地の基準地価格の上昇幅が大きいところは都心に近く、利便性が重視されていることがわかる。
一方、人口減少が進んでいるところでは、下落幅が大きくなっている。
マーケットの状況を勘案してもバランスが取れており、今回の審議内容については適正であると考えている。

○委員
田について、価格調査基準日(令和5年1月1日)以降に水害のあった箇所はどのように評価されるのか。

○事務局

基準地価格は、価格調査基準日である令和5年1月1日時点のものである。当該価格は、市町村内の土地評価の指標となるものであり、被災した箇所は含まれていない。

水害のあった箇所も含めた個々の土地については、今後、市町村において固定資産評価基準に基づき補正等を行い、被害による影響も含めて適切に評価が行われることとなる。